資料2

守口市における

運動部活動の地域移行に向けた取組み

令和 4 年11月21日

守口市教育委員会事務局
教 育 部 学 校 教 育 課

部活動の状況①

【守口市 全体】

		H29	R4	増減
入部率	運動部	64.6 %	60.0 %	- 4.6
	文化部	23.1 %	23.2 %	+ 0.1
部活動数	運動部	105 団体	103 団体	- 2
	文化部	37 団体	29 団体	- 8
全生徒数		3,115 人	2,838 人	- 277

運動部の入部率、部活動数ともに **減少傾向**

部活動の状況②

【八雲中学校の例】

生徒数 **248** 人

運動部（R4）	計	3年	2年	1年	備考
野球部	16 人	8	0	8	
ソフトボール部	14 人	0	10	4	
男子バレーボール部	41 人	9	11	21	
女子バレーボール部	19 人	4	7	8	
男子バスケットボール部	3 人	3			募集停止
女子バスケットボール部	4 人	4			募集停止
サッカー部	18 人	5	12	1	
女子バドミントン部	18 人	6	6	6	
陸上部	9 人	9			募集停止

部員数減少、顧問教員確保困難により、**活動休止**

部活動改革の取組み

①「守口市立中学校に係る運動部活動の方針」策定 【H31.3】

豊かな学校生活、心身のバランスのとれた成長を目指し、

活動時間・休養日を設定

・活動時間：平日は**2**時間程度、休業日は**3**時間程度

・休養日：週当たり**2**日以上

（平日に**1**日以上、土・日に**1**日以上）

部活動改革の取組み

② 部活動指導員の配置

全中学校等に1名を配置【R2～】

中学校等名	R4配置部活動	中学校等名	R4配置部活動
第一 中学校	バドミントン	**大久保** 中学校	ソフトテニス
庭窪 中学校	準硬式野球	**錦** 中学校	卓球
八雲 中学校	男子バスケットボール	**樟風** 中学校	ソフトテニス
梶 中学校	ラグビー	**さつき学園**（後期課程）	男子バスケットボール

部活動改革の取組み

③休日部活動の地域移行への取組み

大阪府教育委員会より

「地域運動部活動推進事業」（スポーツ庁委託）の指定

【R3：守口市、大阪狭山市、島本町　**R4：守口市**、箕面市】

守口市立 八雲中学校、さつき学園（後期課程）の**2**校で実施

事 業 の イ メ ー ジ

現在の部活動

平　日	休日
部活動　学校主体	

地域移行後の部活動

本事業

平　日	＋	休日
部活動　学校主体		地域主体

事業の目標

・中学校における持続可能な運動部活動の組織体制作り

・地域における指導者の確保、部活動とのマッチングするシステムの構築

生徒のスポーツライフの充実

実施校・運営主体

八雲中学校
サッカー部

第一中学校
サッカー部

［R4追加］

地域の少年サッカークラブ

リトルFC
［所在地：守口市内］

守口市スポーツ協会

守口市卓球協会

男女卓球部［R4追加］

さつき学園
女子バスケットボール部
男子ソフトテニス部
女子ソフトテニス部［R4追加］

企　業

幼児活動研究会株式会社
コスモスポーツクラブ
［本社：東京都品川区］

異なる３つのタイプの運営主体で実施

運　営　体　制　等

	リトルFC	コスモスポーツクラブ		市スポーツ協会 市卓球協会
	八雲中・第一中	さつき学園		
	サッカー部	女子バスケ部	男女ソフトテニス部	男女卓球部
実施頻度（原則）	毎週日曜日9～12時	毎週土曜日9～12時		
指導員数	登録９人［**大学生等**］ １回あたり１～２人	登録４人［社員］ １回あたり１～２人	登録３人［社員］ １回あたり１～２人	登録10人［社会人等］ １回あたり１～２人
運営補助員 （連絡窓口）	１人	１人		１人
生徒の保険	スポーツ安全協会に加入（受益者負担なし）			
指導員の保険	リトル**FC**で既加入	コスモスポーツクラブで既加入		市卓球協会で既加入

実施スケジュール

R2		R3									R4								→	R5以降
11	2			6	8	9～	10～	12～1	1～	2	5～	6	7	9	10	11				
大阪府教育庁から照会	実施校決定（八雲中・さつき学園）			運営主体・部活動決定【八雲中】	運営主体・部活動決定【さつき学園】	実施方法を協議【教委・クラブ・学校】	ランニング期間として事業開始	対象部活動保護者会へ説明	**本格実施**	大阪府部活動の在り方に関する研修会にて事例発表	**事業開始（2年目）**	国（スポーツ庁）検討会議提言	他自治体等からの視察	部活動検討委員会①	部活動検討委員会②	部活動検討委員会③				

新型コロナウイルスの感染症の再拡大のため、計画どおり実施が困難。

生　徒　の　活　動

①リトルFC【八雲中学校・第一中学校】

小学校高学年と合同練習

成果

- 小学校段階から系統的な指導
- 練習に必要な人数を確保
- OBによる指導者の確保

生　徒　の　活　動

競技歴・指導歴が豊富な指導者

② コスモスポーツクラブ【さつき学園】

成果

- 技術面やメンタル面等で習熟した指導
- 練習メニュー等、平日の部活動へも好影響

生　徒　の　活　動

競技歴・指導歴が豊富な指導者

③ 市卓球協会（市スポーツ協会）【さつき学園】

成果

- 技術面やメンタル面等で習熟した指導
- 練習メニュー等、平日の部活動へも好影響
- 地域の社会人等による指導者の確保

アンケート結果①※R3

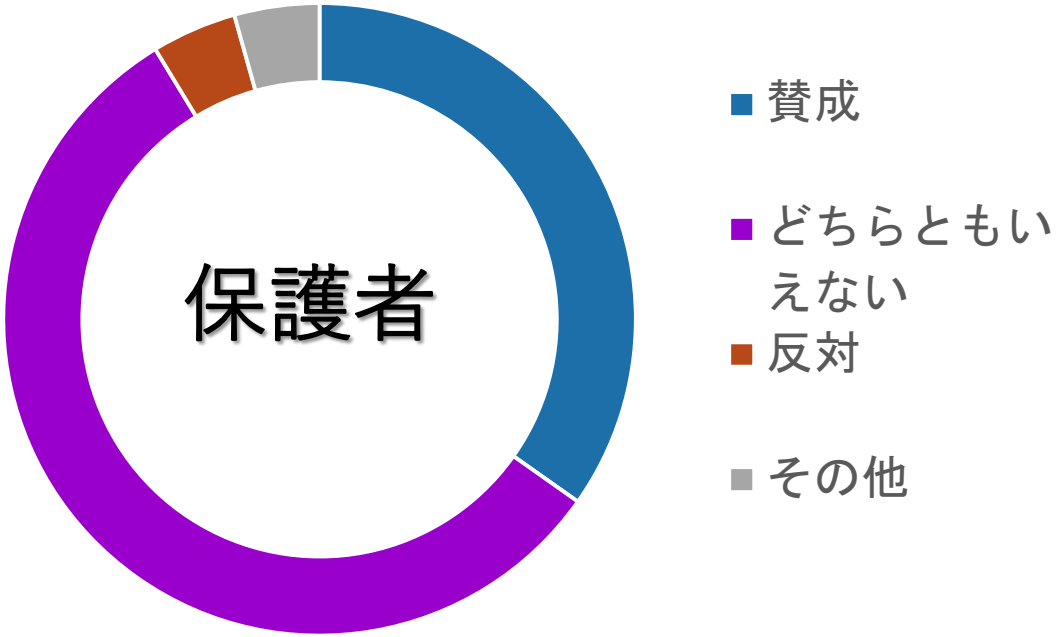
休日に地域の指導者のもとで部活動を行うことについて

【八雲中生徒の声】
楽しかったです。リトルFCの指導者がいると、**動き方や技術をより詳しく教えてくれる**のでいつもより良い雰囲気で練習できました。

生徒の満足度は高い（80%以上）

アンケート結果②※R3

休日の部活動の地域移行について



保護者の理解は不可欠

『賛成』の主な理由

- **先生方の負担軽減**につながるのでよい。
- いろんな人に指導してもらいえることはよい。
- 休日は休んで平日の授業準備等をしっかりしてほしい。
- 休日に限らず、**平日も移行してほしい**。
- **専門的な指導を受けられる**のであれば技術等の向上につながる。
- 地域交流にもなるし、ベテラン指導者の方もおられるので期待できる。

『どちらともいえない』主な理由

- よくわからない
- 部活動指導を含めて希望し採用されているので、学校内の別の雑務を減らすことの方が大切ではないか。
- 技術的な指導としては良いが、**学校内のトラブルや人間関係の連携がうまくとれるのか不安**。

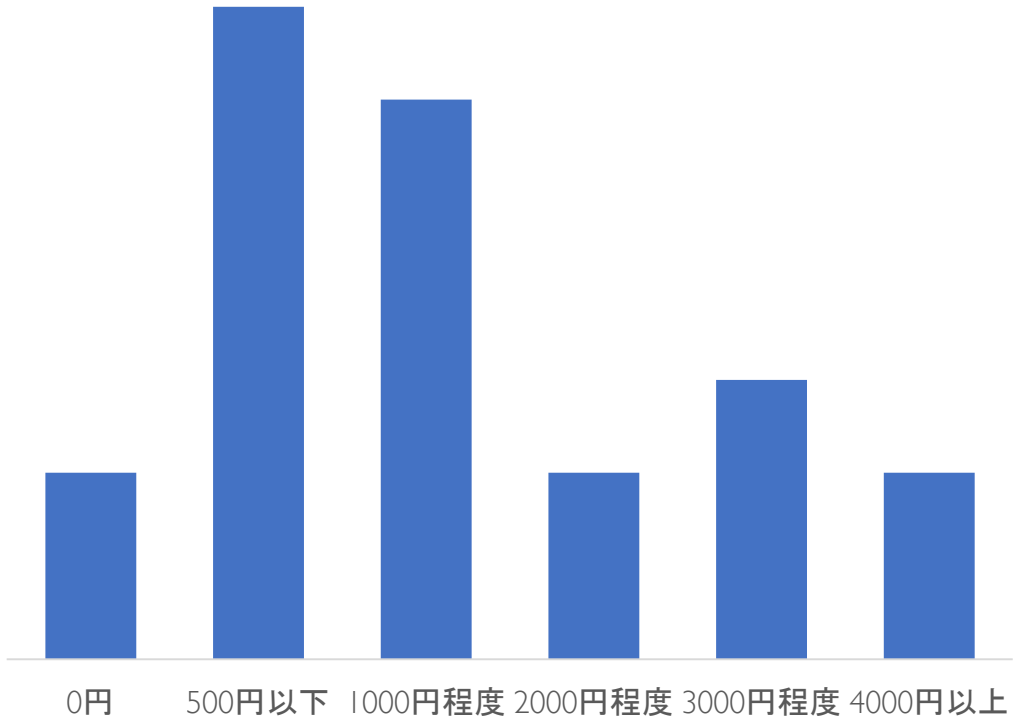
『反対』の主な理由

- 同じ先生に指導してほしい。

アンケート結果③※R3

費用負担が発生した際の妥当と考える月額について

保護者



『無料（0円）』の主な理由

・今までどおり。
・お金がかかるならやめてもらう。

『500円以下』主な理由

・部活動は学校での活動という感覚がある。
・会費制と言われてもピンとこない。
・負担は少ない方がよい。

『1000円程度』の主な理由

・どの家庭にも大きな負担にならないように。
・今の指導内容程度であればこれぐらいが妥当。
・母子家庭や生活圧迫等により、参加したくてもできない子が出る。

当面の課題 ※R3時点

○ 生徒ニーズの把握

部活動に何を望んでいるのか　どんな種目をしたいのか　どれぐらいの頻度で活動したいのか

○ 関係者への丁寧な説明

教職員、保護者、地域、関係団体と、共通の課題意識を醸成するために丁寧な説明が必要

○ 運営主体の在り方

学校／種目別に変えるのか　合同での実施も検討するのか

○ 地域等主体の部活動実施における費用負担

受益者負担をどこまで求めるのか　市としての補助は行うのか

その他の補助を活用することはできないのか

国の方針【スポーツ庁】

スポーツ庁

「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言」（R４.６月）

改革の方向性

○ **まずは、休日の運動部活動から段階的に地域移行していくことを基本**とする
○ 目標時期：**令和５年度の開始から３年後の令和７年度末を目途**
○ **平日の運動部活動の地域移行は、できるところから取り組む**ことが考えられ、地域の実情に応じた休日の地域移行の進捗状況等を検証し、更なる改革を推進
○ 地域におけるスポーツ機会の確保、生徒の多様なニーズに合った活動機会の充実等にも着実に取り組む
○ 地域のスポーツ団体等と学校との連携・協働の推進
※改革を推進するための「選択肢」を示し、「複数の道筋」があることや、「多様な方法」があることを強く意識

市地域運動部活動推進事業における部活動検討委員会

目的

関係者の合意形成、実践研究の実施方針の決定、拠点校における実践の共有や検証、域内への普及方法の検討などを行うため

委員構成

市職員	実施校学校運営協議会委員	実施校校長等	地域運動部活動運営団体員
学校教育課長	八雲中学校区学校運営協議会	八雲中学校　校長	リトルFC
生涯学習・スポーツ振興課長	さつき学園学校運営協議会	さつき学園　副校長	コスモスポーツクラブ
※学識経験者として大阪体育大学准教授（地域移行支援Co）が毎回参加			市スポーツ協会　理事長
			市スポーツ協会　副理事長

市地域運動部活動推進事業における部活動検討委員会

検討事項

	○　報　告　事　項　○	□　協　議　事　項　□
第１回 9月9日	○守口市立中学校等の部活動の状況について ○令和３年度の地域運動部活動推進事業について ○令和４年度の取組み状況について	□市部活動検討委員会の予定について
第２回 10月12日	○事業実施拡充の状況について	□各取組みにおける目的・目標について
第３回 11月17日	○事業実施状況について	□各取組みにおける指導者の確保について
第４回 12月予定	○アンケート結果について	□各取組みにおける費用について
第５回 １月予定	○事業実施状況について	□報告書の内容について

部活動の地域移行に向けて

社会全体で、生涯を通して、スポーツに親しむ意識の醸成

《生徒、保護者、学校、行政、地域社会、スポーツ団体・事業者等》

「する」「みる」「ささえる」

「勝利至上主義」から「自己実現や交流の喜び」への転換

パラスポーツや高齢者スポーツを通じた、世代を超えた交流

地域におけるスポーツ環境の整備

地域スポーツ団体等への支援、スポーツ施設の整備、指導者人材バンクの整備　等

関連諸制度の改善

大会参加資格の見直し、困窮家庭へのスポーツに係る費用補助、高校入試の改善　等